

渋川市議会会派「創生渋川」・「令和維新の会」及び「新生会」

行政視察研修報告書

令和2年2月28日

創生渋川代表 安カ川 信之
令和維新の会代表 須田 勝
新生会代表 田邊 寛治

- 1、視察日程 令和2年1月28日(火)～29日(水)
- 2、視察場所 新潟県長岡市・新潟県柏崎市・東京電力
- 3、視察議員 会派創生渋川 安カ川信之・反町英孝・板倉正和・田中猛夫
会派令和維新の会 須田勝・細谷浩
会派新生会 田邊寛治・山崎雄平

4、視察概要

☆長岡市のNaGaOKaオープンイノベーション事業について

☆柏崎市の地域資源マップについて

☆柏崎刈羽原子力発電所現況及び今後の対策について

○渋川市の地域課題や行政課題を解決する方法として、オープンイノベーションによる解決方法を研修しました。

○地域包括支援システムの構築に向け、活用する地域にある社会資源を一元的に示す資料の作成について研修しました。

○東京電力柏崎原子力発電所の安全対策について視察しました。

5、視察報告

説明者 長岡市地域創生推進部イノベーション推進課

① 長岡市の概要

長岡市は、平成17年に5町村と平成18年に4市町村との合併により、面積891.96km²、人口275,133人(平成27年)となった。

日本一の大河・信濃川が市内中央を雄大に流れ、海と山に囲まれた自然豊かな場所である。また、交通網が整備され、東京から新幹線で約1時間30分の

好アクセスであり、多種多様な産業が集積されている。

長岡花火大会は、長岡空襲で亡くなった人への慰霊、復興に尽力した先人への感謝、恒久平和への願いが込められ、毎年8月2日・3日に行われている。

② 長岡版オープンイノベーション実証実験について

長岡版オープンイノベーション事業は、変化の波を的確にとらえ、従前にとられず市民生活の向上と産業の活性化を実現するため、実施する事業です。

行政において、先進技術や新しい考え方を事業や実務に早期に導入することは、行政職員にとって簡単なことではありません。そこで、新しい技術や考え方の導入を支援する仕組みを構築し、イノベーションの推進・イノベーションマインドの醸成を図るため、民間業者からの提案を募集し、実証実験を実施している。

現在、IoTタグを活用した子どもの見守り、分身ロボットを活用した学習機会の提供、公共施設におけるキャッシュレス決済の事業について募集を行って実証実験が行われていました。なお、補助金交付額は、30万円を限度としています。

IoTタグを活用した子どもの見守りでは、子どもが持つIoTタグを、地域住民のスマホアプリや小学校等に設置する固定アンテナで検知し、保護者のスマホアプリに子どもの居場所を表示することで、安心感の醸成につながる検証が行われていました。

分身ロボットを活用した学習機会の提供では、分身ロボットを使って、特別教室や自宅に居ながら、授業や行事への参加や友人との交流ができる環境を整えることで、学習環境や社会とのつながりの充実につなげることができるか検証されています。

公共施設におけるキャッシュレス決済の事業では、魚の市場通りを有し、多くの観光客が訪れている寺泊地域の2施設について、試験的に外国人旅行者を含めた施設利用者のニーズや職員対応を含めた円滑な運営体制について検証が行われていました。

説明者 柏崎市介護高齢化

③ 柏崎市の概要

柏崎市は、新潟県の沿岸沿いのほぼ中央に位置し、米山・黒姫・八石の出羽三山に囲まれた荻羽平野に位置します。中心市街地は砂丘上に発展しました。

稲作が盛んであるため、市街地から離れると田園が広がっています。

面積は442.03km²で、人口は82,887人（令和元年）です。

④ 柏崎市地域資源マップの概要

介護、医療や予防、生活支援、住まいを包括的に提供する「地域包括ケアシ

システム」が必要な政策課題となっている中、介護予防では、住民主体の通いの場を推進すること、生活支援では、見守り活動など、高齢者が支え合いの担い手となる互助を推進することが、国のガイドライン掲げられました。

このガイドラインでは、高齢者の社会参加は、活動を行う高齢者自身の生きがいにつながり、介護予防や閉じこもり防止にも役立つことがしめされました。

柏崎市では、高齢人口の増加に伴い、介護予防の取組や生活支援サービスを必要とする市民は多く、今後も増加することが見込まれています。しかしながら、遠方に住む家族が、高齢な両親を心配して市への問い合わせを行うケースがありましたが、地域の社会資源を一元的に示す資料が無かった。

そこで、市内の介護予防の場、生活支援サービスの情報を集約し、各種の相談場面で活用できるものを準備すること、高齢者とその周りの人々が、必要な情報にアクセスしやすい環境を整備することを内容とする地域資源マップと介護予防・生活支援サービス集を作成しました。

地域資源マップは、介護予防に資する通いの場を網羅し、実験会場をコミュニティ単位にマップにおとし、情報を見えるかしたものです。

介護予防・生活支援サービス集は、介護保険以外のサービス等について、種類ごとに集約して一冊にまとめたものです。

説明者 東京電力柏崎刈羽原子力発電所担当者

⑤ 柏崎刈羽原子力発電所の概要

柏崎刈羽原子力発電所は、新潟県柏崎市と、同県刈羽原郡刈羽村にまたがる東京電力ホールディングスの原子力発電所で、1号機から7号機までの7基の原子炉を有し、合計出力は821万2千KWです。

柏崎刈羽原子力発電所の原子炉7基はすべて運転が中止されています。

現在、福島第一原子力発電所の事故の教訓を踏まえた様々な安全対策、緊急時対応訓練を行っています。

⑥ 柏崎刈羽原子力発電所の視察内容

原子力発電所の施設及び現在行われている安全対策に係る工事の概要について視察を行いました。なお、柏崎刈羽原子力発電所内は撮影禁止でした。